

令和元年度事業報告

公益財団法人瑞鳳殿定款第8条第2項の規定に基づき、次のとおり報告をいたします。

公益財団法人瑞鳳殿は、仙台藩以来の文化的遺産である瑞鳳殿、感仙殿、善応殿の三霊屋及び経ヶ峯内伊達家墓所の保存整備並びに伊達家霊廟等に関する調査研究を行い、併せて、当該施設の鑑賞の機会を提供し、もって文化の向上に寄与することを目的としており、その目的を達成するため令和元年度において次の事業を行った。

I 事業報告

1 瑞鳳殿の施設公開

(1) 休館日 12月31日

(1月1日は瑞鳳殿のみ無料公開)

(2) 御霊屋の特別開帳と遠忌法要等

- ① 5月24日 初代藩主伊達政宗公遠忌法要、瑞鳳殿特別開帳
- ② 6月4日 三代藩主伊達綱宗公遠忌法要、善応殿特別開帳
- ③ 7月12日 二代藩主伊達忠宗公遠忌法要、感仙殿特別開帳
- ④ 8月6～8日 仙台七夕期間、瑞鳳殿特別開帳
- ⑤ 8月15日 お盆、瑞鳳殿特別開帳
- ⑥ 10月5～20日 秋の瑞鳳殿特別開帳 (特別御集印も900枚頒布)
- ⑦ 1月1日 元朝詣り、瑞鳳殿特別開帳(大晦日23:00～元旦8:00までは閉館とした)
- ⑧ 1月2日 新年拝礼式、瑞鳳殿特別開帳
- ⑨ 5月8日 奉納の会、瑞鳳殿特別開帳

2 政宗歴史塾

「経ヶ峯発掘史45年—課題と展望—」

令和元年8月3日(土)13時30分～16時30分 仙台メディアテーク

参加者115人

講話 伊達泰宗氏(伊達家十八代当主)

講師 長島栄一氏(仙台市教育委員会生涯学習部 文化財課長)

3 企画展の開催

(1) 春の企画展

「四代藩主 伊達綱村公と母 三沢初子」

【前期】 綱村公幼少期(亀千代時代)～

平成31年4月26日(金)～令和元年5月13日(月)

(18日間 参考観覧者数:29,884人)

【後期】 藩主就任以降

令和元年5月14日(火)～令和元年6月6日(木)

(24日間 参考観覧者数:17,079人)

(2) 秋の企画展

「藩主の副葬品一漆工一」

令和元年 11 月 1 日(金)～令和元年 11 月 14 日(木)

(14 日間 参考観覧者数:13,971 人)

(3) 「雛遊～ひいなあそび～」

令和 2 年 2 月 28 日(金)～令和 2 年 4 月 5 日(日)

(38 日間 参考観覧者数:13,240 人)

4 各種イベント

(1) 七夕ナイト

8 月 6 日(火)、7 日(水)、8 日(木) (瑞鳳殿境内各所)

- ① 伝統的な仙台七夕飾りの再現
- ② 竹灯籠と照明による境内ライトアップ
- ③ 森のコンサートの開催
- ④ 七夕パネル展示

3 日間で 8,181 人の観覧者 (うち七夕ナイトの観覧者は 4,520 人
うち、るーぷる仙台特別便利用者 1,466 人)

評定河原運動場駐車場を七夕ナイト時の臨時駐車場として用意した

(2) 秋のライトアップ

11 月 15 日～17 日、22～24 日 毎金土日 17 時～19 時

- ① LED キャンドルと照明による参道ライトアップ
- ② 境内の紅葉ライトアップ

6 日間で 9,043 人の観覧者 (うち秋のライトアップ観覧者は 2,240 人
うち、るーぷる仙台特別便利用者 612 人)

評定河原運動場駐車場を秋のライトアップ時の臨時駐車場として用意した

(3) その他・イベント

- ① 令和元年度 奉納の会 ((公財)仙台観光国際協会)

5 月 8 日(水) 奉納された工芸品は 5 月 22 日(火)まで、資料館前室にて展示

- ② 仙台青葉まつり出陣式(五葉山火縄銃鉄砲隊)

5 月 19 日(日) 表参道～涅槃門前 9 時

- ③ 伊達家十八代当主と巡る伊達家墓所巡り

ア) 第 1 回目 6 月 2 日(日) 10 時～12 時 参加者 20 人

イ) 第 2 回目 10 月 20 日(日) 13 時 30 分～16 時 30 分 参加者 13 人

- ④ 野掛け、花降る舞ひ(一般社団法人「花降る街、仙台」とのタイアップイベント)

9 月 29 日(日) 二、三代側広場 10 時～16 時

(参考観覧者 1,025 人)

- ⑤ 秋の能楽(仙台市能楽振興協会)

10 月 6 日(日) 経ヶ峯西側広場特設ステージ 14 時～15 時 30 分

(参考観覧者 1,199 人)

- ⑥ 羽生結弦選手モチーフ七夕飾りの展示 (拝殿)

10 月 12 日(土)～10 月 20 日(日)

(9日間参考観覧者 6,969人)

⑦ 星月夜の饗宴—ふたつの秋音色— (拝殿前)

10月19日(土) 18時～19時30分

参加者 25人

⑧ 伝統的な門松製作見学会とミニチュア製作ワークショップ

12月15日(月) 13時30分～16時30分

参加者 親子3組7人

5 広報事業

- (1) 瑞鳳殿広報誌「経ヶ峯の四季第16号」の発行
- (2) 瑞鳳殿ホームページ・SNS運用
- (3) イベントポスター・チラシの作成
- (4) 観光情報誌等への情報掲出
- (5) サイネージによる広報(JR仙台駅・地下鉄東西線 国際センター駅)
- (6) イベントボード(地下鉄南北線及び東西線全駅)
- (7) JR車内中吊り広告の掲出(仙石線・仙台空港アクセス線)
- (8) SENDAI Communication Fair in 仙台国際センターへの出展

6 瑞鳳殿施設の解説・案内

- (1) 表参道分岐点の案内板の更新
- (2) 瑞鳳殿ボランティアガイドによる解説・案内

7 学校・観光事業者等に対する支援

- (1) 校外学習受入れ 146校 2,336人
- (2) 出前講座の講師派遣 3件
 - ・瑞鳳殿ガイドの会 30人
 - ・仙台市立宮城野中学校 10人
 - ・サロン・ド・ドリームスターズ 30人
- (3) 博物館実習生の受入 9月9日(月)～14日(土) 2名
- (4) 瑞鳳殿プレゼンテーション 4件 53名

8 奉納

- (1) 地元企業による地場産品奉納 5月8日(水) 44社奉納
- (2) 宮城県酒造組合新酒奉納 2月25日(火) 10社奉納

9 協賛

- (1) 第22回仙台青葉能 5月18日(土)
- (2) 第35回仙台青葉まつり 5月18(土)、19日(日)
- (3) 令和元年度 仙台七夕まつり 8月6日(火)～8日(木)
- (4) 2019 SENDAI 光のページェント 12月6日(金)～31日(火)

10 防災・環境衛生活動

- (1) 消防訓練 2月26日(水)
- (2) 瑞鳳殿すすはらい 12月13日(金)

11 施設等の老朽・安全対策

- (1) 観覧券売り場窓口改良工事
- (2) 瑞鳳殿前石張舗装整備
- (3) 売店前スロープ整備工事
- (4) 妙雲界廟周囲の環境整備

12 その他・サービス

- (1) 売店(お土産、政宗公関連グッズ、オリジナル商品の販売等)
- (2) 駐車場の管理運営
駐車場、コインロッカー(観覧者無料)
・第1駐車場 収容台数30台・第2駐車場 収容台数18台
(七夕ナイト、秋のライトアップ時に臨時駐車場を設置)
- (3) Wi-Fi環境の拡充(境内全てのエリア内フリー)
- (4) キャッシュレス決済(AirREGI、AirPAY、AirPAYQR)の運用
- (5) Uni-Voiceによる多言語音声ガイドシステム拡充(タイ語を追加)
- (6) 瑞鳳殿HPの更新及びタイ語の追加

13 関係団体との情報交換

- (1) 瑞鳳殿ガイドの会との意見交換会 10月1日(火)

14 職員研修

- (1) 宮城県博物館連絡等協議会研修会「ミュージアムにおけるワークショップとは」
6月7日(金)
- (2) 外国人観光客対応力セミナー 10月2日(水)
- (3) 公益法人会計研修 10月11日(金)
- (4) JNTO主催セミナー 11月6日(水)
- (5) 日博協議会(鳴門市) 1月29(金)～31日(土)
- (6) 観光立国タウンミーティング「東北観光シンポジウム」 2月10日(月)

II 観覧者数の動向 (3ヵ年・対前年度増減比)

・平成29年度 234,695人 (18%増)

大人 : 217,893人、高校生 : 3,488人、小中学生 : 13,314人

・平成30年度 267,438人 (14%増)

大人 : 249,606人、高校生 : 3,546人、小中学生 : 14,286人

・令和元年度 276,752人 (3.5%増)

大人 : 258,004人、高校生 : 3,983人、小中学生 : 14,765人

Ⅲ 庶務報告

(1) 理事会に関する事項

- ① 第1回理事会 令和元年5月22日(水) 会場 / 江陽グランドホテル
議案 ・霊廟整備積立資産の繰り入れに関する件
・平成30年度事業報告及び決算に関する件
・評議員会の招集に関する件
- ② 第2回理事会(定款第37条に基づく決議の省略) 令和2年2月5日(水)
議案 ・観覧料の改定に関する件
- ③ 第3回理事会 令和2年3月23日(月) 会場 / 江陽グランドホテル
議案 ・令和元年度霊廟整備積立資産に関する件
・常勤役員の報酬年額の決定に関する件
・令和2年度事業計画に関する件
・令和2年度収支予算に関する件

(2) 評議員会に関する事項

- 令和元年度定時評議員会 令和元年6月11日(火) 会場 / 江陽グランドホテル
議案 ・評議員の選任に関する件
・役員を選任に関する件
・平成30年度決算に関する件

(3) 役員及び評議員並びに職員に関する事項(令和2年3月31日現在)

- ① 役員
理事9名 監事2名
- ② 評議員
9名
- ③ 職員
事務局長(副理事長兼務)、次長、一般職員5名、嘱託職員3名、
臨時職員10名

(4) 届出に関する事項

届出年月日	件名	届出先
令和元年6月26日	平成30年度事業報告等の提出	宮城県知事
令和元年7月26日	変更届出(役員変更名簿等)	宮城県知事
令和2年3月31日	令和2年度事業計画書等の提出	宮城県知事

I 貸借対照表 令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	76,362,920	55,624,117	20,738,803
未収金	932,010	580,449	351,561
前払金	7,300	7,200	100
売掛金	418,316	0	418,316
前払費用	38,500	0	38,500
流動資産合計	77,759,046	56,211,766	21,547,280
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建 物	735,373,883	738,755,524	△ 3,381,641
構 築 物	8,971,399	9,467,961	△ 496,562
霊廟関係資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	141,997,518	138,119,315	3,878,203
基本財産合計	888,342,800	888,342,800	0
(2) 特定資産			
霊廟整備積立資産	130,986,680	130,986,680	0
減価償却引当資産	49,806,944	46,380,352	3,426,592
資料購入積立資産	21,500,000	21,500,000	0
退職給付引当資産	25,908,079	24,407,079	1,501,000
特定資産合計	228,201,703	223,274,111	4,927,592
(3) その他固定資産			
建 物	2,985,049	2,819,810	165,239
構 築 物	15,410,816	13,034,333	2,376,483
霊廟関係資産	2	6	△ 4
車両運搬具	1	1	0
什器備品	2,408,867	1,977,280	431,587
その他固定資産合計	20,804,735	17,831,430	2,973,305
固定資産合計	1,137,349,238	1,129,448,341	7,900,897
資産合計	1,215,108,284	1,185,660,107	29,448,177
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,765,390	6,994,409	△ 229,019
預り金	248,885	691,521	△ 442,636
賞与引当金	2,817,000	2,297,093	519,907
流動負債合計	9,831,275	9,983,023	△ 151,748
2. 固定負債			
退職給付引当金	25,908,079	24,407,079	1,501,000
固定負債合計	25,908,079	24,407,079	1,501,000
負債合計	35,739,354	34,390,102	1,349,252
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産合計	782,556,000	782,556,000	0
(うち基本財産への充当額)	(782,556,000)	(782,556,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	396,812,930	368,714,005	28,098,925
(うち特定資産への充当額)	(105,786,800)	(105,786,800)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(228,201,703)	(223,274,111)	4,927,592
正味財産合計	1,179,368,930	1,151,270,005	28,098,925
負債及び正味財産合計	1,215,108,284	1,185,660,107	29,448,177

Ⅱ 正味財産増減計算書 令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	47,292	157,240	△ 109,948
基本財産受取利息	47,292	157,240	△ 109,948
事業収益	138,051,144	131,774,465	6,276,679
観覧料収益	134,676,050	129,403,848	5,272,202
刊行物販売収益	3,375,094	2,370,617	1,004,477
受取補助金等	1,363,750	0	1,363,750
受取国庫補助金	1,363,750	0	1,363,750
雑収益	5,638,744	5,544,777	93,967
受取利息	41,860	41,200	660
雑収益	5,596,884	5,503,577	93,307
経常収益計	145,100,930	137,476,482	7,624,448
(2)経常費用			
①事業費	110,859,926	118,025,971	△ 7,166,045
役員報酬	3,313,470	3,313,470	0
給料手当	35,959,140	34,894,285	1,064,855
臨時雇賃金	15,472,245	12,451,278	3,020,967
賞与引当金繰入額	2,761,000	2,248,175	512,825
退職給付費用	1,051,000	1,163,000	△ 112,000
福利厚生費	6,717,378	6,699,808	17,570
会議費	0	3,888	△ 3,888
交際費	165,449	173,324	△ 7,875
旅費交通費	70,643	126,232	△ 55,589
通信運搬費	378,993	386,580	△ 7,587
減価償却費	6,778,885	6,441,056	337,829
消耗什器備品	1,686,127	1,253,569	432,558
消耗品費	3,288,395	2,495,531	792,864
修繕費	6,457,033	23,867,866	△ 17,410,833
印刷製本費	3,436,326	2,023,516	1,412,810
賃借料	1,799,629	1,715,316	84,313
広告料	1,652,418	1,349,358	303,060
保険料	921,122	861,171	59,951
支払手数料	956,246	168,388	787,858
諸謝金	747,000	717,000	30,000
租税公課	9,028,580	6,653,600	2,374,980
支払負担金	938,172	885,635	52,537
委託費	6,306,319	7,187,290	△ 880,971
光熱水料費	668,671	711,831	△ 43,160
燃料費	29,624	32,638	△ 3,014
雑費	276,061	202,166	73,895

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	6,142,076	6,232,113	△ 90,037
役員報酬	1,387,930	1,364,730	23,200
給料手当	1,601,316	1,601,238	78
賞与引当金繰入額	56,000	48,918	7,082
退職給付費用	450,000	499,000	△ 49,000
福利厚生費	404,653	390,318	14,335
会議費	213,321	232,406	△ 19,085
交際費	15,450	29,273	△ 13,823
旅費交通費	47,507	58,508	△ 11,001
通信運搬費	80,756	93,499	△ 12,743
減価償却費	525,910	525,910	0
消耗品費	8,840	8,160	680
修繕費	1,085	323	762
印刷製本費	1,485	5,586	△ 4,101
保険料	15,708	19,024	△ 3,316
支払負担金	7,650	8,245	△ 595
光熱水料費	1,003,001	1,013,340	△ 10,339
燃料費	299,525	308,346	△ 8,821
雑費	21,939	25,289	△ 3,350
経常費用計	117,002,002	124,258,084	△ 7,256,082
当期経常増減額	28,098,928	13,218,398	14,880,530
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
固定資産除却損	3	0	3
什器備品除却損	3	0	3
経常外費用計	3	0	3
当期経常外増減額	△ 3	0	△ 3
当期一般正味財産増減額	28,098,925	13,218,398	14,880,527
一般正味財産期首残高	368,714,005	355,495,607	13,218,398
一般正味財産期末残高	396,812,930	368,714,005	28,098,925
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	782,556,000	782,556,000	0
指定正味財産期末残高	782,556,000	782,556,000	0
III 正味財産期末残高	1,179,368,930	1,151,270,005	28,098,925

Ⅲ 正味財産増減書内訳表

令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	47,292		47,292
基本財産受取利息	47,292		47,292
事業収益	130,551,144	7,500,000	138,051,144
観覧料収益	127,176,050	7,500,000	134,676,050
刊行物販売収益	3,375,094		3,375,094
受取補助金等	1,363,750		1,363,750
受取国庫補助金	1,363,750		1,363,750
雑収益	5,638,744		5,638,744
受取利息	41,860		41,860
雑収益	5,596,884		5,596,884
経常収益計	137,600,930	7,500,000	145,100,930
(2)経常費用			
①事業費	110,859,926		110,859,926
役員報酬	3,313,470		3,313,470
給料手当	35,959,140		35,959,140
臨時雇賃金	15,472,245		15,472,245
賞与引当金繰入額	2,761,000		2,761,000
退職給付費用	1,051,000		1,051,000
福利厚生費	6,717,378		6,717,378
会 議 費	0		0
交 際 費	165,449		165,449
旅費交通費	70,643		70,643
通信運搬費	378,993		378,993
減価償却費	6,778,885		6,778,885
消耗什器備品	1,686,127		1,686,127
消耗品費	3,288,395		3,288,395
修 繕 費	6,457,033		6,457,033
印刷製本費	3,436,326		3,436,326
賃 借 料	1,799,629		1,799,629
広 告 料	1,652,418		1,652,418
保 険 料	921,122		921,122
支払手数料	956,246		956,246
諸 謝 金	747,000		747,000
租税公課	9,028,580		9,028,580
支払負担金	938,172		938,172
委 託 費	6,306,319		6,306,319
光熱水料費	668,671		668,671
燃 料 費	29,624		29,624
雑 費	276,061		276,061

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
②管理費		6,142,076	6,142,076
役員報酬		1,387,930	1,387,930
給料手当		1,601,316	1,601,316
賞与引当金繰入額		56,000	56,000
退職給付費用		450,000	450,000
福利厚生費		404,653	404,653
会議費		213,321	213,321
交際費		15,450	15,450
旅費交通費		47,507	47,507
通信運搬費		80,756	80,756
減価償却費		525,910	525,910
消耗品費		8,840	8,840
修繕費		1,085	1,085
印刷製本費		1,485	1,485
保険料		15,708	15,708
支払負担金		7,650	7,650
光熱水料費		1,003,001	1,003,001
燃料費		299,525	299,525
雑費		21,939	21,939
経常費用計	110,859,926	6,142,076	117,002,002
当期経常増減額	26,741,004	1,357,924	28,098,928
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	3	0	3
当期経常外増減額	△3	0	△3
当期一般正味財産増減額	26,741,001	1,357,924	28,098,925
一般正味財産期首残高			368,714,005
一般正味財産期末残高			396,812,930
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			782,556,000
指定正味財産期末残高			782,556,000
III 正味財産期末残高			1,179,368,930

V 財務諸表に対する注記(貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書)

1 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 償却原価法(定額法)を採用している。
- ② 固定資産の減価償却について
有形固定資産 定額法による減価償却を実施している。ただし会計規程第38条に基づき文化的価値を有する建物等については、減価償却は行っていない。
- ③ 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上している
賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込み額のうち当該事業年度に対応する見込額をを計上している。
- ④消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建 物	738,755,524	0	3,381,641	735,373,883
構 築 物	9,467,961	0	496,562	8,971,399
霊 廟 関 係 資 産	2,000,000	0	0	2,000,000
減価償却引当資産	138,119,315	3,878,203	0	141,997,518
小 計	888,342,800	3,878,203	3,878,203	888,342,800
特定資産				
霊廟整備積立資産	130,986,680	0	0	130,986,680
減価償却引当資産	46,380,352	3,426,592	0	49,806,944
資料購入積立資産	21,500,000	0	0	21,500,000
退職給付引当資産	24,407,079	1,501,000	0	25,908,079
小 計	223,274,111	4,927,592	0	228,201,703
合 計	1,111,616,911	8,805,795	3,878,203	1,116,544,503

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位:円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建 物	735,373,883	(695,873,883)	(39,500,000)	0
構 築 物	8,971,399	0	(8,971,399)	0
霊 廟 関 係 資 産	2,000,000	0	(2,000,000)	0
減価償却引当資産	141,997,518	(86,682,117)	(55,315,401)	0
小 計	888,342,800	(782,556,000)	(105,786,800)	0
特定資産				
霊廟整備積立資産	130,986,680	0	(130,986,680)	0
減価償却引当資産	49,806,944	0	(49,806,944)	0
資料購入積立資産	21,500,000	0	(21,500,000)	0
退職給付引当資産	25,908,079	0	(25,908,079)	(25,908,079)
小 計	228,201,703	0	(228,201,703)	(25,908,079)
合 計	1,116,544,503	(782,556,000)	(333,988,503)	(25,908,079)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	27,099,870	24,114,821	2,985,049
構 築 物	73,808,913	58,398,097	15,410,816
霊 廟 関 係 資 産	66,586,470	66,586,468	2
車 両 運 搬 具	1,737,490	1,737,489	1
什 器 備 品	16,487,226	14,078,359	2,408,867
合 計	185,719,969	164,915,234	20,804,735

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

単位:円

銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
仙台市市債平成29年度第2回公募公債	140,000,000	140,056,000	56,000
仙台市市債平成30年度第3回公募公債	50,000,000	49,980,000	△ 20,000
仙台市市債令和元年度第3回公募公債	13,000,000	12,985,700	△ 14,300
合 計	203,000,000	203,021,700	21,700

6 引当金の内訳

引当金の内訳は、次のとおりである。

単位:円

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	2,297,093	2,817,000	2,297,093	2,817,000
退職給付引当金	24,407,079	1,501,000	0	25,908,079

IV 財産目録

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

単位:円

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	つり銭準備金、3/31観覧料	352,600
預金	普通預金		
	七十七銀行仙台市役所支店	運転資金として	68,983,089
	三井住友銀行仙台支店	運転資金として	7,027,231
売掛金	エアレジ	観覧料売上 クレジット・クーポン	418,316
未収金	佐勘・伊達の牛タン等	リーフレット広告料等	932,010
前払金	(公財)仙台市市民文化事業団	政宗歴史塾会場費として	7,300
前払費用	PCA法人会計	法人会計クラウド使用料	38,500
流動資産合計			77,759,046
(固定資産)			
基本財産			
建物	瑞鳳殿、感仙殿、善応殿、仙台市青葉区霊屋	不可欠特定財産として公益目的に供している	735,373,883
霊廟関係資産	展示品	不可欠特定財産として公益目的に供している	2,000,000
構築物	殉死者墓石等		8,971,399
減価償却引当資産	仙台市市債平成29年度第2回	満期保有目的で保有し、公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の財源としている	60,000,000
	仙台市市債平成30年度第3回		50,000,000
	仙台市市債令和元年度第3回		13,000,000
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	満期保有目的で保有し、公益目的保有財産であり、運用益を公益目的の財源としている	15,119,315
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店		3,878,203
特定資産			
霊廟整備積立資産	仙台市市債平成29年度第2回	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的の事業に供している	60,000,000
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	45,986,680
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店		25,000,000
減価償却引当資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	46,380,352
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店		3,426,592
資料購入積立資産	仙台市市債平成29年度第2回	満期保有目的で保有し、運用益を公益目的の事業の財源に供している	20,000,000
	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	公益目的事業の積立資産であり、運用益を公益目的事業の財源に供している	1,500,000
退職給付引当資産	定期預金七十七銀行仙台市役所支店	職員退職給付引当金に対応する資産として管理している	24,407,079
	普通預金七十七銀行仙台市役所支店		1,501,000
その他固定資産			
建物	玉垣、銅製大香炉舎等	公益目的事業	2,985,049
構築物	駐車場管理棟等	公益目的事業	15,410,816
霊廟関係資産	伊達政宗坐像縮小模型等	主として公益目的事業	2
車両運搬具	公用車	主として公益目的事業	1
什器備品	銅製大花瓶、提灯掛等	公益目的事業	2,408,867
固定資産合計			1,137,349,238
資産合計			1,215,108,284
(流動負債)			
未払金	仙台市中税務署他	消費税、法人税等	4,111,100
	日本年金機構仙台北年金事務所	社会保険3月分	450,844
	松井建設株式会社	公益目的事業 委託費	363,000
	株式会社ハリウコミュニケーションズ等	公益目的事業 印刷製本費等	1,840,446
預り金	職員	社会保険料、住民税	248,885
賞与引当金	職員	職員の賞与支給に備えたもの	2,817,000
流動負債合計			9,831,275
(固定負債)			
退職給付引当金	職員	公益目的事業退職給支給に備えたもの	25,908,079
固定負債合計			25,908,079
負債合計			35,739,354
正味財産			1,179,368,930

監査報告書

令和2年5月15日

公益財団法人 瑞鳳殿
理事長 藤本 章 様

公益財団法人 瑞鳳殿

監事 高山 秀樹 

監事 中村 清治 

私達は、令和元年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度、公益財団法人瑞鳳殿の事業及び会計の監査を行いました。その結果を次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。